【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和6年5月31日(2024.5.31)

【公開番号】特開2022-177667(P2022-177667A)
【公開日】令和4年12月1日(2022.12.1)
【年通号数】公開公報(特許)2022-221
【出願番号】特願2021-84085(P2021-84085)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　1/3206(2019.01)
Ｂ４１Ｊ 29/38(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　1/3287(2019.01)
Ｇ０６Ｆ　1/3296(2019.01)
Ｇ０６Ｆ 15/78(2006.01)
Ｈ０２Ｊ　1/00(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　1/3206
Ｂ４１Ｊ 29/38　１０４
Ｇ０６Ｆ　1/3287
Ｇ０６Ｆ　1/3296
Ｇ０６Ｆ 15/78　５１７
Ｈ０２Ｊ　1/00　３０７Ｆ
Ｈ０２Ｊ　1/00　３０７Ｇ
Ｈ０４Ｎ　1/00　８８５

【手続補正書】
【提出日】令和6年5月16日(2024.5.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
処理装置であって、
前記処理装置の内部を統括的に制御するコントローラとして動作する集積回路と、
外部電源に接続され、前記集積回路に電力供給を行う電源部と、
前記電源部から供給される電力に基づく前記処理装置の状態を切り替える電源スイッチと、
前記集積回路と前記電源部とに接続され、前記電源部から前記集積回路への電力供給を行わせるための第１信号を生成する第１状態と、前記電源部から前記集積回路への電力供給を停止させるための第２信号を生成する第２状態とを有する信号生成回路と、
を備え、
前記集積回路は、前記信号生成回路を前記第２状態とするための信号を前記信号生成回路に送信する制御手段、を備える、
ことを特徴とする処理装置。
【請求項２】
ユーザ設定を記憶する記憶部、をさらに備え、
前記制御手段は、前記記憶部に記憶されている前記ユーザ設定に基づいて、前記信号生

成回路を前記第２状態とするための信号を前記信号生成回路に送信することを特徴とする請求項１に記載の処理装置。

【請求項３】

前記制御手段は、前記ユーザ設定が第１の設定である場合、前記信号生成回路を前記第２状態とするための信号を前記信号生成回路に送信し、前記ユーザ設定が第２の設定である場合、前記電源部により前記集積回路に電力供給が行われている通常動作モードよりも電力消費が小さいスリープモードに前記集積回路の状態を遷移させる、

ことを特徴とする請求項２に記載の処理装置。

【請求項４】

前記制御手段は、前記ユーザ設定が前記第１の設定である場合、前記信号生成回路を前記第２状態とするための信号を前記信号生成回路に送信し、

前記信号生成回路は、前記信号生成回路を前記第２状態とするための信号に基づいて前記第２状態となり、前記第２状態において生成された前記第２信号を前記電源部に対して送信し、

前記電源部は、送信された前記第２信号に基づいて、前記集積回路への電力供給を停止する、

ことを特徴とする請求項３に記載の処理装置。

【請求項５】

前記信号生成回路は、前記電源スイッチに接続されており、

前記電源部による前記集積回路への電力供給が停止された後、前記電源スイッチが操作されたことに基づいて、前記信号生成回路は、前記第１状態となり、前記第１状態において生成された前記第１信号を前記電源部に対して送信し、

前記電源部は、送信された前記第１信号に基づいて、前記集積回路への電力供給を再開する、

ことを特徴とする請求項４に記載の処理装置。

【請求項６】

前記外部電源が遮断された場合、前記信号生成回路は、前記第１状態となることを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項に記載の処理装置。

【請求項７】

前記外部電源の遮断後に前記外部電源が再び投入された場合、前記信号生成回路が前記第１状態となったことに基づいて、前記電源部から前記集積回路への電力供給が行われることを特徴とする請求項６に記載の処理装置。

【請求項８】

前記信号生成回路は、前記第２状態において前記第２信号を生成した場合、該生成された第２信号に基づき前記集積回路への電力供給が停止した後も前記第２状態を維持することを特徴とする請求項１乃至７のいずれか１項に記載の処理装置。

【請求項９】

前記信号生成回路は、前記電源スイッチの操作を受け付けたことに基づいて前記第１状態となることを特徴とする請求項８に記載の処理装置。

【請求項１０】

前記信号生成回路は、トランジスタを含むラッチ回路として構成されていることを特徴とする請求項８又は９に記載の処理装置。

【請求項１１】

前記制御手段は、前記信号生成回路を前記第２状態とするための信号の前記信号生成回路への送信として、前記ラッチ回路に含まれるトランジスタのベース端子のレベルを設定することを特徴とする請求項１０に記載の処理装置。

【請求項１２】

前記電源スイッチの操作により、前記ラッチ回路に含まれるトランジスタのベース端子のレベルが設定されることを特徴とする請求項１０又は１１に記載の処理装置。

【請求項１３】

前記制御手段は、前記ユーザ設定が前記第２の設定である場合、前記集積回路が前記スリープモードに遷移した後、前記電源スイッチが操作されたことに基づいて、前記通常動作モードに前記集積回路の状態を遷移させることを特徴とする請求項３に記載の処理装置。

【請求項１４】

前記集積回路は、前記通常動作モードと前記スリープモードにおいて、ジョブの処理が可能であることを特徴とする請求項３に記載の処理装置。

【請求項１５】

前記ジョブに基づいて、記録媒体への記録を行う記録手段、をさらに備えることを特徴とする請求項１４に記載の処理装置。

【請求項１６】

処理装置であって、

前記処理装置の内部を統括的に制御するコントローラとして動作する集積回路と、

外部電源に接続され、前記集積回路に電力供給を行う電源部と、

前記電源部から供給される電力に基づく前記処理装置の状態を切り替える電源スイッチと、

前記集積回路と前記電源部とに接続され、前記電源部から前記集積回路への電力供給を行わせるための第１信号を生成する第１状態と、前記電源部から前記集積回路への電力供給を停止させるための第２信号を生成する第２状態とを有する信号生成回路と、

を備え、

前記集積回路は、前記信号生成回路を前記第２状態とするための信号を前記信号生成回路に送信する制御手段、を備え、

前記外部電源の遮断後に前記外部電源が再び投入された場合、前記信号生成回路が前記第１状態となったことに基づいて、前記電源部から前記集積回路への電力供給が行われる、

ことを特徴とする処理装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

上記課題を解決するため、本発明に係る処理装置は、処理装置であって、前記処理装置の内部を統括的に制御するコントローラとして動作する集積回路と、外部電源に接続され、前記集積回路に電力供給を行う電源部と、前記電源部から供給される電力に基づく前記処理装置の状態を切り替える電源スイッチと、前記集積回路と前記電源部とに接続され、前記電源部から前記集積回路への電力供給を行わせるための第１信号を生成する第１状態と、前記電源部から前記集積回路への電力供給を停止させるための第２信号を生成する第２状態とを有する信号生成回路と、を備え、前記集積回路は、前記信号生成回路を前記第２状態とするための信号を前記信号生成回路に送信する制御手段、を備えることを特徴とする。